平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名　グリー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3632　URL　http://gree.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田中　良和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長　(氏名) 天野　雄介　TEL 03-5770-9500

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	30,432	―	16,646	―	16,528	―	9,449	―
23年6月期第1四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　24年6月期第1四半期　8,961百万円　(―%)　23年6月期第1四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	41.01	38.92
23年6月期第1四半期	―	―

(注)平成23年6月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	72,576	44,405	61.1
23年6月期	62,855	37,462	59.5

(参考) 自己資本　24年6月期第1四半期　44,311百万円　23年6月期　37,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	0.00	―	9.00	9.00
24年6月期	―				
24年6月期(予想)		0.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成24年6月期の配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせいたします。

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	130,000～140,000	102.6～118.1	60,000～70,000	92.7～124.8	60,000～70,000	94.6～127.1	33,000～39,000	80.9～113.8	142.70～168.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	231,540,000 株	23年6月期	229,300,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	2,110 株	23年6月期	2,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	230,397,673 株	23年6月期1Q	45,477,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関して
上記の予想は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 配当予想金額に関して
平成24年6月期の配当金額は未定でありますが、決定次第速やかに開示致します。

3. 株式分割について
平成22年10月1日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8
５．補足情報 …… 9
（１）前年同四半期に係る財務諸表 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

我が国のインターネット利用環境は、アクセス網の大容量化や低廉化を背景にモバイル及びPC共になお発展段階にあります。平成22年12月時点でインターネット利用者数は9,462万人、そのうちブロードバンド利用者数は7,285万人に達し、全利用者のうち約77％が光回線またはDSL回線等の利用が可能であると言われております（総務省平成22年「通信利用動向調査」）。また、モバイルインターネットに関しても成長著しく、平成23年９月末時点で携帯電話契約数は１億2,312万件、そのうち第三世代携帯電話契約数は１億2,228万件に達し、全端末のうち約99％は高速データ通信が可能な状況と言われております（電気通信事業者協会発表）。また、スマートフォンの需要が引き続き好調に推移しており、平成23年４～６月の携帯電話出荷台数822万台のうち、スマートフォンの出荷台数比率は45.5％（IDC Japan株式会社調べ）と約半数を占めております。

このような事業環境の下、当社グループは主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成すモバイル・PC向けSNS「GREE」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に取り組んで参りました。ユーザー数の拡大に向けては、引き続き大手通信事業者との連携やTV-CM放映等によるプロモーションに取り組みました。

収益基盤の確立・強化に向けては、引き続き自社ソーシャルゲームの拡充など収益基盤の安定性向上を図りました。平成22年６月から開始した「GREE Platform」では、平成23年９月末時点で約500社のデベロッパーから約1,250タイトル以上の多様なコンテンツが提供され、ユーザーのアクティビティの活性化並びに一部有償アイテム等を通じた収益化に貢献しております。

また、スマートフォンへの対応を進めており、「GREE」のiPhone版、Android版をリリースすると共に、自社ソーシャルゲームの提供を開始しております。「GREE Platform for Smartphone」では、平成23年９月末時点で、約220社のデベロッパーから約530タイトル以上のコンテンツが提供されております。

また、スマートフォンが世界的に普及する中、国際展開を急速に進めており、平成23年１月の北米子会社設立を皮切りに、アジア、欧州、南米への拠点設立を進めております。

サイト内の安全性及びサービスの健全性の維持に関する取り組みとしては、平成20年８月に一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（注）（以下「EMA」といいます。）より、サイト運用管理体制に関する第三者認証を取得して以来、EMA基準以上の管理体制を維持し、継続的・定期的に実施されるEMAの審査を通過しております。

更に、一層強固なパトロール体制の整備、青少年の保護・健全育成に向けた取り組みの強化などを継続的に実施し、ユーザーによる安心かつ快適な利用環境の維持、並びにサービスの健全な発展に努めました。

以上の取り組みの結果、当第１四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高30,432百万円、営業利益16,646百万円、経常利益16,528百万円、四半期純利益9,449百万円となっております。

なお、前第３四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は行っておりません。

（注）モバイルコンテンツの健全な発展と違法・有害情報からの青少年保護を目的として、モバイルサイトの審査、認定、運用監視等を行う第三者機関

（２）連結財政状態に関する定性的情報

財政状態

当第１四半期連結会計期間末の総資産は72,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,721百万円増加致しました。流動資産は55,562百万円（前連結会計年度末比7,955百万円増）となりました。主な増加要因は「売掛金」が8,809百万円増加したことによるものであり、主な減少要因は法人税等及び配当金の支払により「現金及び預金」が1,340百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は17,013百万円（前連結会計年度末比1,765百万円増）となりました。

負債につきましては28,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,777百万円増加致しました。流動負債は27,984百万円（前連結会計年度末比2,782百万円増）となりました。主な増加要因は「未払金」が4,309百万円増加したことによるものであり、主な減少要因は「未払法人税等」が2,246百万円減少したことによるものであります。固定負債は186百万円（前連結会計年度末比4百万円減）となりました。

純資産につきましては、44,405百万円（前連結会計年度末比6,943百万円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が7,386百万円増加したことなどによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末59.5％に対し、当第１四半期連結会計期間末は61.1％と1.6ポイント増加しております。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末188.9％に対し、当第１四半期連結会計期間末は198.6％と9.7ポイント増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）「GREE」をグローバルなプラットフォームに成長させるべく、ソーシャルゲームの開発・運営に注力しており、平成23年９月末時点でグループ全体で１億5,000万人以上のユーザーを有しています。

当社グループをとりまく事業環境については、世界中でモバイルとPCにおける安価で快適なインターネット利用環境の整備が見込まれることなどを背景に、SNS利用者の裾野がますます拡大すると共に、スマートフォンの世界的な普及に伴いソーシャルゲーム市場が更なる成長期を迎えると考えております。

当社グループは、引き続きインターネットメディア事業に経営資源を重点的に配分し、当該事業の中核を成すSNS「GREE」のメディア価値の最大化を目指し、各国ユーザー数の拡大及び収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。また、設備投資や人員増強、世界の拠点整備など経営基盤の強化にも積極的に取り組んで行く計画です。

ユーザー数の拡大に向けては、世界各国の大手通信事業者との連携や多様なプロモーション手法を用いた広告宣伝活動の展開を積極的に推進して参ります。同時に、収益基盤の確立・強化に向けては、ソーシャルゲームの新規投入やコンテンツの利用拡大に向けた施策を推進することで、有料課金収入の拡大及び安定化を図ります。

また、世界各国の有力プラットフォームとの仕様共通化などの取り組みを通じて、世界中の多様なデベロッパーから様々なコンテンツが提供され、ユーザーのアクティビティ活性化や関連する売上の成長を見込んでおります。今後もユーザーの利用動向を注視しながら、アクティビティ向上に資する各種コンテンツの提供及び機能の拡充を図って参ります。

広告メディア収入については、サービス規模の順調な成長に伴う広告媒体価値の向上を背景に、新規広告主の開拓を推進して参ります。拡大が見込まれるスマートフォン向け広告に関しても、新たな広告商品の開発などによって広告メディア収入の拡大を図って参ります。

一方、費用については、主に広告宣伝費、トラフィックの増加に伴うサーバー賃借料、有料課金収入の拡大に伴う支払手数料、人件費の増加、サービスの拡充に伴う外注加工費の増加等を見込んでおります。

以上により、当第１四半期連結累計期間までの業績推移と今後の取り組みによる影響を考慮して、通期の売上高130,000百万円～140,000百万円、営業利益60,000百万円～70,000百万円、経常利益 60,000百万円～70,000百万円、当期純利益 33,000百万円～39,000百万円を見込んでおります。

詳細につきましては、平成23年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

（４）追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,254	20,914
売掛金	16,944	25,754
その他	8,814	10,054
貸倒引当金	△406	△1,160
流動資産合計	47,607	55,562
固定資産		
有形固定資産	959	1,203
無形固定資産		
のれん	9,893	9,338
その他	352	639
無形固定資産合計	10,246	9,977
投資その他の資産	4,043	5,832
固定資産合計	15,248	17,013
資産合計	62,855	72,576
負債の部		
流動負債		
未払金	13,757	18,067
未払法人税等	9,967	7,720
引当金	－	350
その他	1,477	1,846
流動負債合計	25,202	27,984
固定負債		
その他	191	186
固定負債合計	191	186
負債合計	25,393	28,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,135	2,158
資本剰余金	2,133	2,156
利益剰余金	33,434	40,820
自己株式	△2	△2
株主資本合計	37,701	45,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	45
為替換算調整勘定	△401	△866
その他の包括利益累計額合計	△303	△821
少数株主持分	64	93
純資産合計	37,462	44,405
負債純資産合計	62,855	72,576

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	30,432
売上原価	2,104
売上総利益	28,328
販売費及び一般管理費	11,681
営業利益	16,646
営業外収益	
受取利息	2
その他	0
営業外収益合計	2
営業外費用	
為替差損	102
その他	17
営業外費用合計	120
経常利益	16,528
税金等調整前四半期純利益	16,528
法人税、住民税及び事業税	7,609
法人税等調整額	△559
法人税等合計	7,049
少数株主損益調整前四半期純利益	9,479
少数株主利益	29
四半期純利益	9,449

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	9,479
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△52
為替換算調整勘定	△465
その他の包括利益合計	△517
四半期包括利益	8,961
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	8,932
少数株主に係る四半期包括利益	29

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等
当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象
該当事項はありません。

５．補足情報

（1）前年同四半期に係る財務諸表

前第３四半期会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第１四半期累計期間の個別財務諸表を参考資料として記載しております。

四半期損益計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	12,410
売上原価	786
売上総利益	11,623
販売費及び一般管理費	5,402
営業利益	6,221
営業外収益	
受取利息	9
その他	0
営業外収益合計	9
営業外費用	
為替差損	3
営業外費用合計	3
経常利益	6,227
特別利益	
本社移転費用引当金戻入額	8
特別利益合計	8
税引前四半期純利益	6,235
法人税、住民税及び事業税	2,073
法人税等調整額	466
法人税等合計	2,540
四半期純利益	3,695